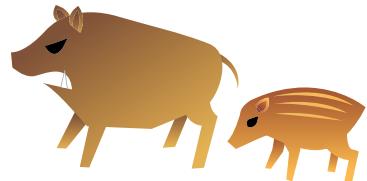


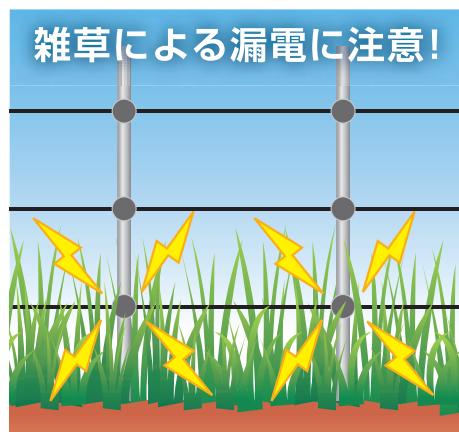
「電柵まわり」にバスタ!

除草作業の労力軽減に役立ちます。



電気柵管理に関するポイント

- 電線に雑草が触れると、漏電の原因になります。
- 電柵の外側は広めに除草しましょう。
(イノシシは藪から農耕地までの距離が長いと近寄って来ない習性があります。)
- 草刈り機を使うと断線や支柱切斷の恐れがあるので、
除草剤の散布がおすすめです。
また除草剤は、草刈り機に比べ作業を省力化できます。
- 除草剤は、あぜ、のり面の崩れにくいものを選びましょう。



○バスタによる電気柵の除草管理メリット

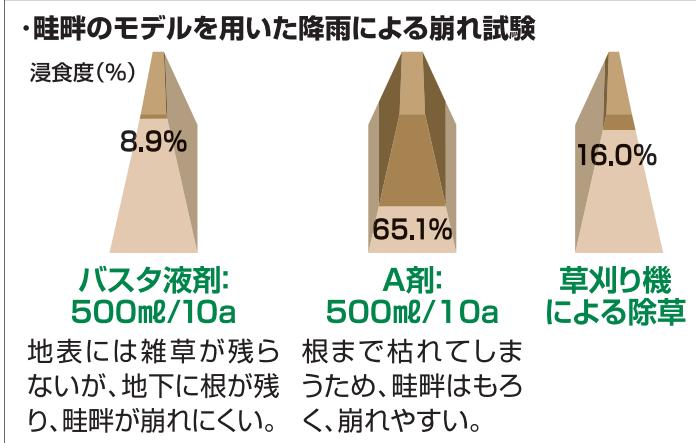
メリット1 支柱や電線を傷めることなく散布できます。
電線に対する薬液の影響も殆どありません。



メリット3 散布後2~3日程度で効果が現れ、
40日程度抑草します。



メリット2 あぜやのり面を崩す心配がありません。
草刈り機による除草と同じ位の強度を維持します。



バスタの効果を
動画でチェック!

バスタ映像
「問題雑草への効果」
YouTube



BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVAL日本橋ビル3階
0120-014-660 <https://crop-protection.bASF.co.jp/>

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

詳しい
製品情報
バスタHP



BASF
アグロソリューション
Facebook



®=BASF社の登録商標